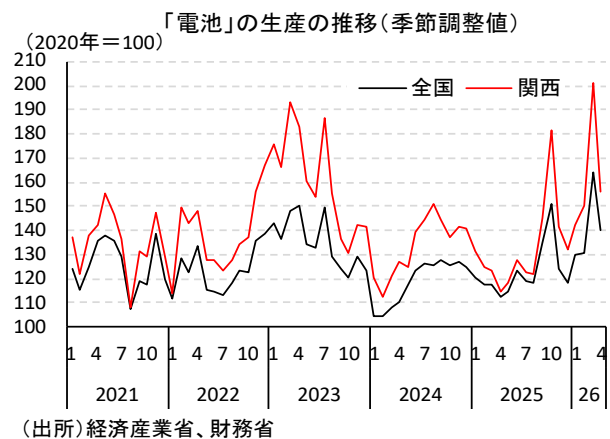
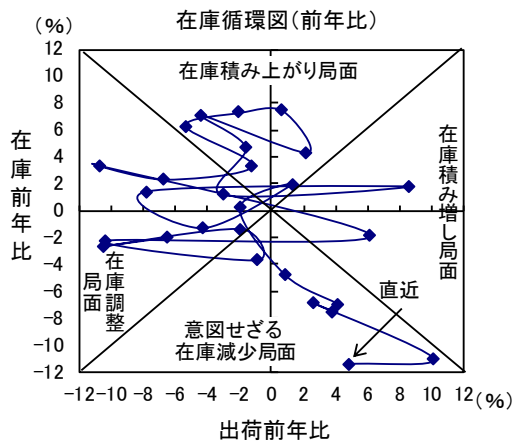
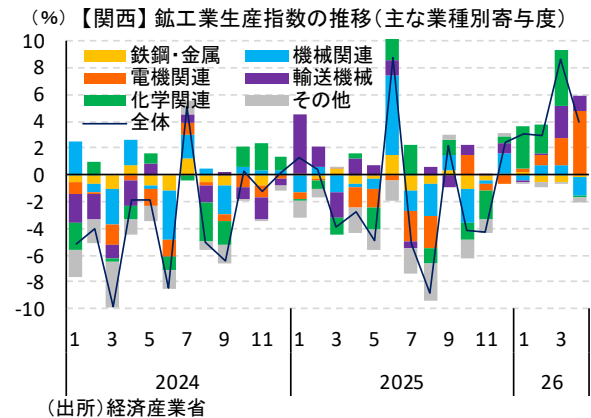
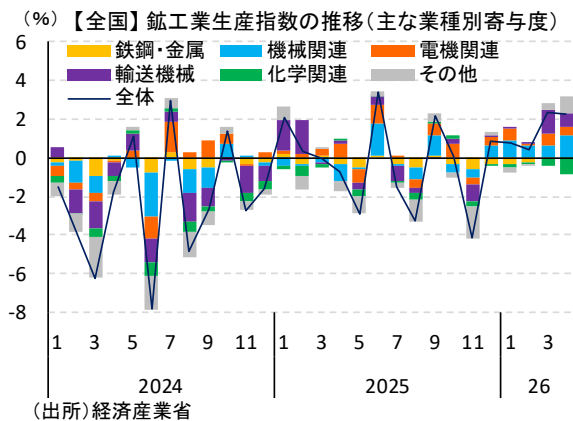


関西の景気トピックス【鉱工業指数（26年4月）】

- 26年4月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）によると、生産（原数値）は前年比で3.9%増と、5か月連続の増加となった。業種別には、電池や通信機器などを中心とした電機関連のほか、前月に続いて自動車関連が伸び、全体を押し上げる形となった。
- 在庫循環の状況を見ると、前月と同様に、「需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する」意図せざる在庫減少局面となっている。しばらくこの局面が続いている中、来月以降の動向が注目される。
- 品目には偏りがみられるとはいえ、このところは生産の増加傾向が続いている点は、関西景気にとって明るい材料といえよう。ただし、今後は中東情勢の混乱によるナフサ不足の影響が出てくる恐れもあることから、今後の推移が注目されよう。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。